



2024年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年3月15日

上場会社名 REVOLUTION

上場取引所

東

コード番号 8894 URL <https://revolution.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新藤 弘章

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部本部長

(氏名) 津野 浩志

TEL 03-6627-3487

四半期報告書提出予定日 2024年3月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第1四半期の連結業績(2023年11月1日~2024年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	282	140.6	106		105		107	
2023年10月期第1四半期	117	33.8	116		116		117	

(注) 包括利益 2024年10月期第1四半期 114百万円 (%) 2023年10月期第1四半期 97百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	0.17	
2023年10月期第1四半期	0.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第1四半期	2,207	1,181	53.5	1.83
2023年10月期	1,952	1,291	66.0	1.99

(参考) 自己資本 2024年10月期第1四半期 1,181百万円 2023年10月期 1,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期		0.00		0.00	0.00
2024年10月期					
2024年10月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日~2024年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	394	11.3	167		162		162		0.25
通期	5,021	108.9	373		388		373		0.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期1Q	646,685,819 株	2023年10月期	646,185,819 株
期末自己株式数	2024年10月期1Q	4,341 株	2023年10月期	4,321 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年10月期1Q	646,409,745 株	2023年10月期1Q	399,996,209 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の水準引き上げが進み緩やかな景気回復基調となりつつありますが、ロシア・ウクライナによる紛争継続等の地政学リスクや為替相場における円安進行等により原材料や光熱費が依然として高止まりしており、国内における経済状況は引き続き不透明な状況が継続しております。

当社グループのセグメントに係る各業界においても、国内景気と同様、先行きは不透明な状況です。

このような状況下、当社では、前連結会計年度において大幅な赤字を計上することとなったため早急な立て直しが必要であると判断し、2023年12月14日臨時株主総会では本店及び業務執行する経営陣を、2024年1月29日定時株主総会では新たな監査等委員（社外取締役）を選任したことで経営陣を刷新、新たな体制をスタートさせました。また、並行して無駄なコストを大幅にカットし、売上・利益に貢献するような経費のみを支出可能といたしました。そして、不動産事業においては、前経営陣が進めた絶景ジャパンプロジェクトとして仕入れた物件の売却を進める一方、新体制第1弾事業として販売用不動産を仕入れました。仕入れた物件は、株式会社グラマラスへの業務委託により、デザイナーの手がけるハイグレードなりノバージョンで価値の高い物件を提供する計画です。投資事業においては、新規投資は行わず既存案件の売却や投資先のヒアリングをするなど、今後の方針を検討いたしました。不動産クレジット事業においては、新規案件として1件融資をいたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は2億8千2百万円（前年同四半期比140.6%増）、営業損失は1億6百万円（前年同四半期は営業損失1億1千6百万円）、経常損失は1億5百万円（前年同四半期は経常損失1億1千6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億7百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億1千7百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不動産事業

絶景JAPANプロジェクトについては、13件中7件を契約し、5件を引き渡し売上計上いたしました。また、東京都内の収益物件を仕入れ、株式会社グラマラスと業務委託契約を締結し、事業体制を整えてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2億7千8百万円（前年同四半期比154.2%増）、営業損失は8百万円（前年同四半期は営業損失1千8百万円）となりました。

② 投資事業

当社において新規投資は行わず、資金化を進めてまいりました。また、当該セグメントとしては、連結子会社「Japan Allocation Fund SPC」にて株式保有をしており、今後も投資先の発展に寄与できるよう注視してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は無く（前年同四半期は売上高7百万円）、営業損失は3百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

③ 不動産クレジット事業

新たに不動産担保融資案件を1件実行し、融資残高は1億円となりました。また、融資案件1件については全額弁済を受けました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3百万円、営業利益は2百万円となりました。なお、前年四半期連結累計期間において、当該セグメントは存在しないため前期比較を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は20億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億2千5百万円増加しました。営業投資有価証券が2億3千3百万円減少したものの、販売用不動産の増加2億2千6百万円等が主な要因であります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億3千2百万円増加しました。投資有価証券の増加1億2千9百万円が主な要因であります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は9億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億6千5百万円増加しました。短期借入金の増加4億1千8百万円が主な要因であります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて0百万円減少しました。その他の減少8百万円が主な要因であります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は11億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千万円減少しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は22億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億5千4百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本日開示の業績を織り込んでいることから2024年2月26日に公表した業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	798,247	896,600
営業未収入金	1,642	1,049
営業投資有価証券	295,882	62,289
販売用不動産	658,642	885,510
未収還付法人税等	244	-
営業貸付金	27,200	100,000
その他	114,499	75,838
貸倒引当金	△2,643	△1,683
流動資産合計	1,893,715	2,019,605
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	-	354
有形固定資産合計	-	354
投資その他の資産		
投資有価証券	7,560	136,657
出資金	980	6,990
破産更生債権等	999	909
敷金及び保証金	45,006	42,962
その他	1,340	520
貸倒引当金	△999	△909
投資その他の資産合計	54,886	187,130
固定資産合計	54,886	187,484
繰延資産	3,739	-
資産合計	1,952,341	2,207,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,608	5,710
短期借入金	334,860	752,860
未払法人税等	773	283
借入有価証券	128,299	36,180
預り金	58,878	96,367
前受収益	-	9,110
その他	45,758	38,988
流動負債合計	574,177	939,499
固定負債		
ノンリコース長期借入金	62,289	62,289
退職給付に係る負債	11,769	11,490
長期預り敷金保証金	668	8,807
その他	11,719	3,614
固定負債合計	86,446	86,202
負債合計	660,624	1,025,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	103,542
資本剰余金	1,511,355	1,514,897
利益剰余金	△325,057	△431,838
自己株式	△1,972	△1,972
株主資本合計	1,284,325	1,184,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,094	△3,241
その他の包括利益累計額合計	4,094	△3,241
新株予約権	3,296	-
純資産合計	1,291,716	1,181,387
負債純資産合計	1,952,341	2,207,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年11月1日 至2024年1月31日)
売上高	117,446	282,574
売上原価	70,309	267,682
売上総利益	47,137	14,891
販売費及び一般管理費	163,755	121,618
営業損失(△)	△116,617	△106,726
営業外収益		
受取利息	40	0
貸倒引当金戻入額	42	1,050
業務受託収入	15,000	9,000
有価証券運用益	-	6,999
その他	1,925	3,786
営業外収益合計	17,008	20,836
営業外費用		
支払利息	5,225	3,282
業務受託費用	10,921	6,179
新株予約権発行費償却	-	3,739
支払手数料	-	5,100
その他	343	1,703
営業外費用合計	16,490	20,005
経常損失(△)	△116,100	△105,895
特別利益		
固定資産売却益	10	1,727
その他	-	52
特別利益合計	10	1,779
特別損失		
店舗閉鎖損失	299	-
解約違約金等	-	3,285
特別損失合計	299	3,285
税金等調整前四半期純損失(△)	△116,389	△107,400
法人税、住民税及び事業税	303	146
法人税等調整額	658	-
法人税等合計	961	146
四半期純損失(△)	△117,350	△107,547
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△117,350	△107,547

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
四半期純損失(△)	△117,350	△107,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,870	△7,336
その他の包括利益合計	19,870	△7,336
四半期包括利益	△97,480	△114,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,480	△114,883
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算 書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	不動産クレジ ット事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	70,559	-	-	70,559	-	70,559
その他の収益(注) 3	39,154	7,733	-	46,887	-	46,887
外部顧客への売上高	109,713	7,733	-	117,446	-	117,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	109,713	7,733	-	117,446	-	117,446
セグメント損失(△)	△18,618	△6,084	-	△24,702	△91,915	△116,617

- (注) 1 セグメント損失(△)の調整額△91,915千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算 書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	不動産クレジ ット事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	278,935	-	3,639	282,574	-	282,574
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	278,935	-	3,639	282,574	-	282,574
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	278,935	-	3,639	282,574	-	282,574
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△8,173	△3,389	2,067	△9,494	△97,231	△106,726

- (注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△97,231千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは「不動産事業」、「投資事業」を報告セグメントとしておりましたが、前第2四半期連結会計期間より株式会社REVOLUTION FINANCEを連結子会社としたことを契機に、従来の報告セグメントに加え「ファイナンス事業」を報告セグメントとして新たに記載しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「ファイナンス事業」のセグメント名称を「不動産クレジット事業」に変更しております。